

知ってほしい、議会のこと

草津市

# 議会だより

令和7年9月臨時会、10月定例会号

令和7年12月1日  
発行  
No. 197

## ハイスクールで high な City 創り!! 2025



- 高校生と市議会議員との意見交換会 P2、P3
- 草津市議会新体制 P4、P5
- 審議結果、委員会代表質問 P6
- 委員会代表質問、17人が市政を問う一般質問 P7～P11
- 11月定例会の開催予定 P11
- 知ってほしい、議会の活動 P12

## 第4回

# 高校生と市議会議員との意見交換会

# ハイスクールで highなCity 創り!! 2025

9つのチームに分かれて、高校生と議員が意見交換をしました。



高校生が議員と直接意見を交わすことで、身近な市政を考えるきっかけとしてもらうとともに、議員にとっても、将来のまちづくりの担い手となる若者の意見を聞く貴重な機会とするため、草津市議会では令和4年から「高校生と市議会議員との意見交換会」を開催しています。

4回目となる今年は、7月24日に市内の高校6校が参加され、議場や委員会室、全員協議会室な

ど、日頃議員が協議している部屋を会場として、9つのグループに分かれて活発に意見を交わしました。

最後には議場に戻り、グループごとにまとめた内容を発表。「投票率を高めるには?」「地元で活躍できる場」「通学路の安全対策」という3つのテーマについて、高校生ならではの視点が光る意見に、議員も真剣に耳を傾けました。若者の声が市政に生かされる、大切な一歩となりました。

## 参加高校生への インタビュー

### 参加高校

- 草津東高等学校
- 玉川高等学校
- 湖南農業高等学校

- 草津高等学校
- 綾羽高等学校
- 光泉カトリック高等学校

- ① 本日の感想
- ② 市議会に関心を持ってもらうためのアイデア
- ③ 市の魅力は？ どんなまちになってほしい？



- ① 最初は緊張していたが、自分の思いや考えを発言することで、とても気持ちがすっきりした。良い体験をさせてもらったと思う。
- ② 参加することで、意見を出せる場が身近にあれば良いと思う。
- ③ 草津市は大きな建物もある中で、自然との調和がとれていて、とても住みやすいまちだと思う。

- ① 他校の生徒や議員と話し合いができ、とても楽しい交流となりました。
- ② 今回のような意見交換会を年に1回ではなく、一般の人も参加できるようにしたら良いと思う。
- ③ 商業施設や学校も多く、交通の便も良いことから子育てしやすい。自然が豊かなので、自然を活用した場があると良い。



平野さん

- ① 普段できないことが経験できて新鮮だった。
- ② どのようなことを行っているかわからないので、議会の情報を探してほしい。
- ③ 若者の遊ぶ場所をつくってほしい。



他の議会活動の様子

こちらから高校生と市議会議員との意見交換の詳細なことがご覧いただけます。



石南さん

- ① 楽しかった。議員や他校との交流ができ、自分の考えと異なる意見を聞くことができて良かった
- ② 今後も高校生が意見を言う場をつくってはどうか。
- ③ スポーツ施設や博物館・娯楽施設が充実している。充実した学びの場がほしい。若者の思いを実現できるまちになってほしい。



岡本さん



藤本さん

- ① 普段政治に関わらないので、良い経験になった。学校では意見や発想を伝える機会がないので、楽しかった。
- ② 学校の授業に議員が来て話す機会をもってはどうか。  
(出前授業)
- ③ いろいろな年齢層の人が交流できるまちであってほしい。



ファシリテーター  
(左)井戸田さん (右)斎藤さん

### ● ファシリテーターの講評 ●

高校生のみなさんにとっては、普段あえて調べたり質問したりしないことについて考える機会となり、また市議会の様子を知る特別な経験になったと思います。

議員のみなさんにとっては、若者の意見を聞く大変貴重な場となったのではないでしょうか。

# 草津市議会 新体制

10月定例会閉会日の11月14日に、  
議長・副議長の選出や、各委員会の構成  
等を変更し、草津市議会の新たな体制が  
決まりました。

■議長  
遠藤 覚



■副議長  
井上 薫



## 議長・副議長 就任あいさつ

このたび、私どもは第73代草津市議会議長、第71代草津市議会副議長に就任させていただきました。

議会は一人の力で成り立つものではなく、議員24人がそれぞれの立場や視点を尊重しながら、同じ方向を見据えて進むことで市民の皆様の期待に応えることができます。このことから、議会基本条例の理念を念頭に置き、議会が一丸となって建設的な議論を重ね、新しい知恵と価値を生み出すことをめざします。

そして、市民の皆様にとって誇りとなる議会運営を行ってまいります。

議会の中心は常に「市民の皆様」です。皆様に寄り添い、真摯に耳を傾け、温かく誠実かつ謙虚な姿勢で運営に取り組み、議会としての責任を果たしてまいります。

今後とも、皆様方のご指導とご協力を心よりお願い申し上げまして、就任のあいさつとさせていただきます。





## 【9月臨時会】

| 議案番号  | 件名                               | 付託先 | 結果          |
|-------|----------------------------------|-----|-------------|
| 議第58号 | 草津市教育委員会委員の任命につき<br>同意を求めることについて | 即決  | 同意          |
| 議第59号 | 人権擁護委員の候補者の推薦につき<br>意見を求めることについて | 即決  | 別段異議<br>はない |
| 議第60号 | 令和7年度草津市一般会計補正予算<br>(第2号)        | 予算  | 原案<br>可決    |

## 【10月定例会】

| 議案番号  | 件名                                     | 付託先 | 結果            |
|-------|----------------------------------------|-----|---------------|
| 議第64号 | 草津市教育委員会委員の任命につき<br>同意を求めることについて       | 即決  | 同意            |
| 議第65号 | 財産の取得につき議決を求めることについて<br>『集中型防災備蓄倉庫の取得』 | 総務  | 原案<br>可決      |
| 議第66号 | 令和6年度草津市一般会計歳入歳出<br>決算                 | 決算  | 認定            |
| 議第67号 | 令和6年度草津市国民健康保険事業<br>特別会計歳入歳出決算         | 決算  | 認定            |
| 議第68号 | 令和6年度草津市財産区特別会計歳<br>入歳出決算              | 決算  | 認定            |
| 議第69号 | 令和6年度草津市学校給食センター<br>特別会計歳入歳出決算         | 決算  | 認定            |
| 議第70号 | 令和6年度草津市介護保険事業特別<br>会計歳入歳出決算           | 決算  | 認定            |
| 議第71号 | 令和6年度草津市後期高齢者医療特<br>別会計歳入歳出決算          | 決算  | 認定            |
| 議第72号 | 令和6年度草津市水道事業会計利益<br>の処分および決算の認定について    | 決算  | 原案可決<br>および認定 |
| 議第73号 | 令和6年度草津市下水道事業会計利<br>益の処分および決算の認定について   | 決算  | 原案可決<br>および認定 |
| 議第74号 | 令和7年度草津市一般会計補正予算<br>(第3号)              | 予算  | 原案<br>可決      |

[付託先] 議案の審査を行う所管委員会。なお、付託しない場合は、本会議で即決。《 》は件名に対する補足説明を表します。



毎号、定例会中に各常任委員会で審査した内容を要約して掲載  
していますが、今号では紙面の都合により掲載していません。  
審査内容はホームページでお知らせします。

委員会  
代表質問

委員会代表質問は、総務、文教厚生、産業建設常任委員会において十分に調査・議論した  
事項について、各委員会を代表する議員が質問を行う制度です。

総務常任委員会  
横江 政則

- まちづくりの現状に対する市の見解
- 自治会専用デジタルツールの導入



**議員** 協働のまちづくり条例の制定から約10年が経過し、地域の方々が日々まちづくりに取り組んでこられたことで、地域らしさが表れていると感じている。こうした中、行政は、現状のまちづくりをどのように捉えており、地域らしさが表れている現状に対して、現行の条例で対応できると考えているのかを問う。

**市** 草津市協働のまちづくり計画を社会情勢や時代のニーズを踏まえて見直すことにより、現行条例で対応できると考えている。また、本市の最上位計画である草津市総合計画の中で、まちづくりを進めることを掲げていることも踏まえ、今後も、第3次草津市協働のまちづくり推進計画に基づき持続可能なまちづくりの実現をめざしていく。

**議員** 町内会等への加入率の低下や役員の人才不足といった課題を抱える中、武蔵野市が導入している自治会専用デジタルツール「いのいち」は、安否確認やコミュニティの形成、見守り等の機能があり、本市の技術的支援の一環として導入することは、まちづくりの推進において最適な対策と考える。このことからデジタルツールの導入を検討いただきたいが、市の見解を問う。

**市** 県内の他市ではモデル導入を行っている自治体もあるが、本市では、LINEを活用し、幅広い世代から意見を収集している学区をはじめ、町内会員や役員間で情報共有を行っている町内会もある。このような事例も踏まえ、ツールの汎用性やニーズを把握し導入を検討している地域に対して、情報の提供や交付金等による支援を行っていきたいと考えている。

## 文教厚生常任委員会 中島 美徳



- 若者が主体的に関わる居場所づくり
- SC(スクールカウンセラー)SSW(スクールソーシャルワーカー)の配置



**議員** 多様な年齢層のこども・若者が企画・運営に関わりながら、地域での活躍の場や居場所づくり等関連事業に取り組むことについて伺う。また、図書館の学習スペースである「学-being<sup>①</sup>」を含め、若者主体の居場所づくりについての考えを伺う。さらに、公共施設の一部を若者自身が企画・運営する「チャレンジ枠」や委託制度についての考えを伺う。

**市** 草津市こども・若者計画においても、こども・若者を「ともに社会をつくるパートナー」として捉え、今年度から「こども・若者の声を形に」プロジェクトを実施し、中学生年代や若者が主体的に企画・実現する取組を進めている。学-beingをはじめ、地域まちづくりセンターやアーバンデザインセンターなど年代

を問わず集える場所があり、意見を言える場や実現できる場としても活用が期待される。チャレンジ枠や委託制度については、先進事例等を参考に調査研究していく。

**議員** 現在、県および市単独でSC、SSWを配置しているが、相談件数の多さや常勤配置でないことによる課題がある。そこで、各々の専門性と役割での対応が可能となるように、今後SC、SSWの常勤化や専任化および人数を増やすことについて伺う。

**市** SSWは、市費で常勤化し、県による配置と併せて各校おおむね週1回の巡回ができている。SCは、配置人数の増員を県教育委員会に要望するとともに、市費での常勤化について検討している。

## 質疑および 一般質問

10月28日、29日、30日には、17人の議員が、議案に対する「質疑」や市政に関する方針や考え方などについて質す「一般質問」を行いました。

質問と答弁の内容を一部要約して紹介します。

### 先成 俊士 市民派クラブ



#### スマート交通施策の導入

**議員** 信号制御の最適化など、デジタル技術を活用したスマート交通の施策導入が必要と考えるが、市の見解を伺う。

**市** デジタル技術を活用したスマート交通施策を推進することにより、交通流の分散化につなげる必要があると認識している。今年度、草津駅周辺ウォーカブル都市検討業務において、自転車や歩行者の交通実態について、ビッグデータを用い、交通流の分散化につなげる対策を検討中である。

#### 自動車からの転換策

**議員** 自動車の総量を減らすため、公共交通の補完モビリティとして「シェアサイクル」の導入検討について伺う。

**市** 渋滞緩和策として、自家用車から自転車への利用転換の推進が不可欠である。令和7年8月に協定を締結した3者（草津市・立命館大学・パナソニック株）が、地域課題の解決の一つとしてシェアサイクルなどのモビリティの在り方について、利便性と安全の両面から協議を開始したところである。

### 福田 茂雄 輝勢会



#### 市立プールへの水泳学習移行

**議員** 教職員の負担軽減や計画的な授業運営、専門的な指導による教育効果、熱中症予防などが期待できる市立プールへの水泳学習の移行について伺う。

**市** 水泳学習移行については、一定の考え方の下、令和8年度は、大規模校である老上小学校、小規模校である常盤小学校それぞれの活用状況を踏まえた上で、中規模校でどのような計画を立てるべきかを判断し、段階的な移行について検討を進めていく。

#### 通学路等安全対策実施プログラム

**議員** 通学路等安全対策プログラムの基本方針と、地域委員への情報共有、要望の整合性確保等の課題に対して、制度運用の方向性について伺う。

**市** 本プログラムの基本的な方針は、関係機関での情報共有に努め、合同点検を実施し、対策の改善・充実を繰り返すことで、通学路等の安全性の向上を図ることである。要望は、学校を通じてPTAや町内会等に提出いただき、関係者による合同点検を実施している。本プログラムは、効果的な手段であり、適切に機能しているものと認識している。なお、通学路を兼ねた生活道路の要望もあることから、町内会等から関係部局へ直接要望することも併用して進めている。

その他の質問 • 主要渋滞箇所の「優先対策区域」

①学-being（まなびーいんぐ） 草津市立図書館・南草津図書館に設けられた学習スペース。

## 瀬川 裕海 草政会

### ケアラー支援

議員 ケアラーの実態調査と、ケアラーと自覚していない潜在層の把握について伺う。

市 ヤングケアラーについては、令和3年度に「青少年の支援に関するアンケート」調査を行い、高齢分野については、3年に1度、在宅介護実態調査を実施している。障害分野については、実態調査は実施していないが、障害福祉サービスの利用希望時に障害者の状態や介護者、世帯全体の状況を把握している。潜在層の把握は、福祉部門においては、地域包括支援センターや民生委員と連携し、家族のみで抱え込み、負担が増大しているケアラー把握に努めている。

議員 ケアを受ける人や多様化するケアラーへの支援を社会全体で行っていくため、ケアラー支援条例を制定する考えはあるか。

市 各分野においてケアラーへの支援を行っており、理念中心のケアラー支援条例を制定することは考えていない。しかし、ケアラー自身が個人として尊重され、自分らしく生活できるよう支えていくことが重要であることから、広くケアラーについて周知を図るとともに、今後もケアラーに関わる関係部署と連携を図り、実効性のあるケアラーへの支援に努めていく。



## 山元 宏和 輝勢会

### 市民生活における安全安心

議員 消防団員の休団制度などの改正を行うことで、団員の活動が充実したものになるのか。また、団員を町内会役員として取り扱うよう町内会に働き掛けはできないか。

市 休団中の身分保障による安心感が団員確保につながり、また、機能別の災害時支援団員制度では、日頃の訓練等を通じた地域と消防団との、より緊密な連携関係の構築を期待している。団員を町内会役員として取り扱うことについては、町内会は任意の団体であることから、市から町内会に働き掛けることは困難である。

### こどもたちの通学や学校生活における安全安心

議員 通学時にネッククーラー配布やクーリングシェルター設置、さらに校内にウォーターサーバーや屋外ミストの設置など、猛暑からこどもたちを守るための熱中症対策について伺う。

市 ネッククーラーなどのグッズを活用できるよう、学校に冷凍庫を設置することについて検討している。クーリングシェルターの設置は、全ての通学路をカバーすることは難しい。冷水機は、新たに各小・中学校に設置を検討していくが、屋外ミストは、現在、学校独自に設置されている。熱中症対策について、引き続き取り組んでいく。

その他の質問 • 各小・中学校の市立プールの利用

## 藤井三恵子 日本共産党草津市会議員団

### 公共交通のさらなる充実を

議員 今夏、児童と保護者へのまめバス無料試乗体験や、病院の送迎バス運行での一般利用拡大の取組の評価と、利用者に寄り添った利便性拡大を求めるが、市の見解を問う。

市 無料乗車実証実験の小学生以下の利用は延べ1,557人、まめバス全路線の利用者は前年比約1.2倍促進できた。アンケートでは、約4割が初乗車で、約7割以上の小学生と保護者が「有料であっても利用したい」と回答。病院の送迎バス活用実証事業では、9月末までに688人が利用。今後の事業に活用できるようアンケートなどを実施し、検証したい。

### こども食堂への補助拡大と支援策の強化を

議員 物価高騰の折、全国ではこども食堂にも影響し、閉鎖や事業縮小しているが、市内の状況と課題について市の見解を問う。

市 市の把握数は、現在25カ所で、NPO法人や市民団体、学区社会福祉協議会などが運営している。現在のところ物価高騰などの影響による閉鎖や事業縮小はないが、人材不足や後継者問題、参加者の固定化などの課題があり、今後も情報交換会や運営者間の連携を見守り、必要な支援を届けられるよう努めしていく。



## 八木 良人 みらいと維新の風

### 地域情報ポータルサイトでまちのにぎわい創出

議員 市民が地域イベント情報にアクセスしやすくするため、分散した情報を一元化した「にぎわいポータルサイト」を提案する。

市 市では現在、各課がSNSや広報誌で情報を発信しているが、まちづくり情報の満足度が2割に満たないという課題がある。地域情報を整理・共有・発信するポータルサイトの構築は、ウェルビーイングとしても有効であり、観光・商業分野に限らず、子育てや市政情報なども含めた形で調査・研究を進める。

### 性犯罪防止のための教育環境の確立を

議員 教職員による性犯罪防止のため、校内の環境整備や通報・相談体制について、体系整備・仕組みづくりを求める。

市 全国で教職員の性犯罪が増加する中、市も危機感を持って防止に取り組んでいる。密室化を防ぐ工夫や、スマートフォン利用の禁止を徹底し、児童生徒・保護者・教職員の相談体制も整備している。今後は、不祥事防止に対する各校の取組を集約・整理し、体系化したものについて市内で共有を図ることで、安全な教育環境づくりを全市で進める。

その他の質問

•マイナ保険証のトラブル対応と国保の資格確認書発行後の対応



## 土肥 浩資 市民派クラブ

### 財源不足による市民生活への影響

**議員** 将来的に財源不足が見込まれる中、市民の生活基盤を守るために、どの施策分野を守り、どの分野を見直すのか明確にしていただきたい。

**市** 児童、高齢者、介護など市民生活に直結する福祉やこども・若者の成長を支える分野を重点的に守りつつ、書かない窓口や施設予約システムなどDX<sup>③</sup>を推進し、市民サービスの向上を図る。施策評価を公表し、成果の見える化で説明責任を果たしている。

### PDCA<sup>④</sup>とFFA<sup>⑤</sup>の相互補完

**議員** 予算編成においてPDCAサイクルの限界を補うために、将来の兆候や予測に基づいて先手を打つFFAの視点を取り入れていくべきと考える。

**市** PDCAによる過去の状況の振り返りだけでは補いきれない地域課題や市民ニーズもあり、将来予測や目標に基づいた予算編成も必要であると認識している。変化する社会経済情勢や課題にも迅速かつ柔軟な対応を実現する予算編成に努める。



## 小野 元嗣 輝勢会

### 障害者支援における手話通訳者<sup>②</sup>の増員要望

**議員** 専任の手話通訳者が不在の時、時間や日を改めて再度窓口に来られる障害者もおられる。専任の手話通訳者増員の早急な対応を問う。

**市** 現在の本市の体制は、1名の専任通訳者による対応をしている。市として増員の必要性を十分認識し、2名分の予算を確保し、欠員1名の募集を引き続き行う。

### 国道1号南田山交差点の渋滞緩和対策

**議員** 十禅寺川側道の市道野路矢橋線は、本年8月の信号機改良後も以前に増して渋滞が増加。南田山交差点の右折レーン設置を強く要望するが、市の考えを問う。

**市** 信号制御を運用変更され、信号の時間調整を実施されたが、期待する緩和に至っていない現状がある。県公安委員会と連携し、市道部の南田山交差点の改良を検討していく。国道や県道への影響や、一級河川の一部暗渠化を伴う付替え、主要なライフラインの移設などの課題があり、各管理者との協議をふまえ、課題解決に向けて取り組む。



### その他の質問

- 新規歳入確保策の可能性と戦略
- 物価高騰と無駄の排除

### その他の質問

- 道徳教育の推進と市の方針や教育委員会の所見
- 開庁時間変更後の状況

## 西田 剛 草政会

### 人命を預かる現場、教育現場で働く人材不足問題

**議員** 少子高齢化が激進している今、教師、保育士、介護士等の人材不足が加速している。人生の入り口から出口までの内で、学びやケアが必要な人は待ったなしであることを見ると、公・民を区別せず、本市としてそれぞれの人材不足対策に早急に着手する必要があるが、市の考えを問う。

**市** 看護師、介護職員、保育士等の人材不足は、全国一律の課題であることから国が公的価格として定めており、教師は、県での採用であることから自治体が単独でできることは限られていると認識しているが、全産業と比較してまだ賃金が安価なことから、国や県に介護職員および保育士の待遇改善の要望を続けている。

特に、待機児童対策は喫緊の課題であることから、保育士等定着応援支援金や保育士等奨学金返還支援事業費補助金といった「草津市子育て6つの楽だ！」の施策を独自に講じ、保育士確保に取り組んでいる。



## 野村 友子 みらいと維新の風

### 秋の全国交通安全運動

**議員** 全国共通の重点目標を軸に、地域の実情に即した対策を強化するための目標設定をすべきと考えるが、本市独自の重点目標として設定した項目があれば、内容と設定理由を伺う。

**市** 運転手から見て、横断歩道の右から左に横断する歩行者事故が多いこと等から、「横断歩道利用者ファースト運動の推進」を県独自の重点事項として定め、草津栗東地区交通対策協議会においても同様の重点項目としており、同運動の推進は特に重要であると認識している。

### 横断歩道利用者ファースト運動の推進強化

**議員** 啓発や意識醸成のきっかけとして、例えば車体に貼るマグネットステッカーの作製をしてみてはいかがか。これまでにない新たな試みで、「横断歩道利用者ファースト運動の推進」強化をしていただきたいが、考えを伺う。

**市** マグネットステッカーによる啓発も、横断歩道での事故防止に有効な手法のひとつであると考える。市公用車を運転する職員自身が、横断歩道利用者ファーストの行動を示しながら、併せてマグネットステッカーによる啓発が実施できるよう取り組む。



### その他の質問

- 人口増加における交通安全対策
- 交通安全都市宣言の啓発促進
- 交通事故発生状況を踏まえた課題
- 地域ごとの交通事故発生要因の特徴と交通安全対策指導

②手話通訳者 手話を用いて、聴覚障害者と健聴者とをつなぐ役割を果たす通訳を行う人。

③DX(デジタルトランスフォーメーション) 進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をよりよいものに変えること。

④PDCA Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)の4つのステップを繰り返すことで、目標達成や問題解決を効果的に進めること。

⑤FFA フィードフォワード(FF)「目標設定」→「アクション(A)」「無意識の振り返り」の2つのステップを繰り返すこと。

## 藤本 晶 みらいと維新の風

### 学校における水難事故防止教育

**議員** 水の危険を理解し命を守る力を育む教育を、全学年で一貫して行う必要性を訴える。  
**市** 水難事故防止の啓発は、各学校で夏休み前に健康安全指導の一環として児童生徒に行われており、市教育委員会からは海上保安庁などが作成した安全啓発ツールの活用を周知している。また、夏休み前には子どもだけで水辺やプールに行かないよう指導し、保護者の方に対しても、水難事故に関する注意喚起を行うことが大切である。

### 学校水泳のこれから

**議員** 屋内プール活用では、約860万円の費用がかかったと伺った。今後の学校水泳をどのように展開していくのか、その方針を伺う。  
**市** 屋内プールの活用により、天候や気温に左右されず計画的な授業が可能になったとの評価もあった。今後は、老人小学校に続き、常盤小学校での実施状況を踏まえ、築年数の浅い学校プールも含めた段階的な移行の検討を進める。



## 田中 香治 草政会

### 生きづらさを抱える人の就労支援

**議員** 更生保護の対象者を含む生きづらさを抱える人に対して、就労を通じた立ち直りに貢献することは、行政の重要な役割ではないか。

**市** 生きづらさを抱える人に対しての就労支援は、経済状況をよりよく安定させる経済的自立のみならず、健康や日常生活をよりよく保持する日常生活自立、社会的なつながりを回復・維持する社会生活自立にも寄与する大変重要な支援であることから、更生保護も含む、広く生活に困窮する人に対し、引き続き支援を行う。

### 滋賀県就労支援事業者機構等との連携構築

**議員** 生きづらさを抱える人達等に対し、就労支援に向けた制度の在り方を市が主体となって改善していくのか。

**市** 県就労支援事業者機構等との新規連携構築について、現在の人とくらしのサポートセンターにおける就労支援や相談は、ハローワーク等との連携により行っているが、今後よりよい就労支援が行えるよう、さらなる連携機関として県就労支援事業者機構とも連携していく。

#### その他の質問

- 75年間行われている「社会を明るくする運動」の効果

## 伊吹 達郎 シン・プロジェクトK

### 午前5時間制草津プラン導入

**議員** 制度導入しなければならない状況の説明と、モデル実施の課題や保護者意見交換会の状況について伺う。  
**市** 「こどもと教職員のウェルビーイングの両立」により、質の高い教育の実現に向けた取組を進めるために実施する。モデル実施の結果から、学びタイムをより柔軟で効果的な運用ができるよう支援する。保護者説明会での質疑応答の内容を、市ホームページに掲載していくなどの情報発信により、制度の理解を深めていきたい。

### 通学通園路の安全確保

**議員** 大切な命を守るため、通学通園路の安全確保について市の現状を伺う。また、来年9月に生活道路の法定速度が時速60キロから時速30キロに引き下げられるが、市の考え方を伺う。

**市** 通学通園路、散歩ルートについて、子どもの命を守ることを最優先に安全確認を徹底している。今後、国の動向を踏まえ、地域や警察、道路管理者と協議を行い、より安全安心な通行空間の確保に努める。



## 西川 仁 日本共産党草津市会議員団

### 外国人への排他・排外主義でなく共生を

**議員** 参院選挙で、外国人が「社会保障で優遇されている」や「犯罪が多い」など、デマで憎悪をあおることが広がり、これを批判する首長も多い。排他・排外主義を否定し、共生社会をめざす市としての所見を問う。

**市** 市内の外国人住民は3,893人、納税が約2.9億円、生活保護世帯は35世帯の実態を示し、優遇の事実はない。排外主義はあってはならず、多文化共生社会の実現を進めていく。

### 矢橋帰帆島公園駐車場の有料化に反対を

**議員** 令和6年3月に、矢橋帰帆島公園活性化方針が策定され、その中で駐車場有料化の検討が明記されている。県のアンケートでは、反対が63%と多数であり、県に反対の意見を挙げるよう求めている。

**市** 周辺地域の代表者で構成される矢橋帰帆島部会で、方針の説明を受けている。公園全体の魅力を向上し、何度も訪れたくなる公園をめざすとされている。有料化に反対が多いアンケート結果であるが、県が適切に対応されるものと考えている。

#### その他の質問

- 学区再編成
- 入札制度の適正化

#### その他の質問

- 小学校給食費の無償化
- 道路の維持管理

## 田中 詩織 みらいと維新の風

### 災害時の在宅避難者への支援と栄養支援体制の強化

議員 災害時における在宅避難者を支える体制整備と、栄養支援の強化が必要と考えるがいかがか。

市 今年度の地域防災計画の改訂で、在宅避難者等が利用しやすい場所に支援拠点を設置するなど、支援方策を検討するよう努めることを反映する。また、栄養に配慮した食品を提供できるよう、民間企業との災害協定を進めるとともに、県の協定等を活用し管理栄養士等の派遣を受けながら、被災者の栄養支援の充実に努める。

### いのちの安全教育の活用と包括的性教育へ

議員 文科省が推進する「いのちの安全教育」を全ての子どもが等しく学べるよう、教育委員会として重要性をしっかりと示し、継続的に取り組める体制づくりが必要と考えるがいかがか。

市 「いのちの安全教育」は、自身や相手一人一人を尊重する態度を養うことにつながるものと考えており、児童生徒の発達段階に応じ、学校の保健全体計画や学校安全教育計画等に位置づけるなど、体系的に取り組んでいく。

【その他の質問】 • 乳幼児期の関りを通じた「いのちの教育」



## 西垣 和美 公明党

### 第2次草津市多文化共生推進プラン策定に向けて

議員 日本語教育の促進や、総合相談窓口の設置、大学と企業等の連携による人材循環モデル構築の取組について伺う。

市 日本語教育の促進については、現状やニーズを把握した上で支援体制の研究をしていく。大学都市の強みを生かした人材循環モデルの構築は、関係者間で情報共有を図っていく。ワンストップ総合相談窓口については、現在も相談内容に応じて関係課につなぐとともに、必要に応じて通訳職員が同行し適切に相談に応じている。

### 外国にルーツを持つ子どもの日本語教育支援

議員 学習支援は、基礎的な日本語の習得が必要。津市のカリキュラムを参考に、草津市にも初期日本語教室の設置と保護者支援の体制を構築してはどうか。

市 設置については、現在モデル的な実施に向け、津市のカリキュラムをもとに指導体制を検討している。保護者への支援は、通訳者の派遣や自動翻訳機の貸し出し、県の事業のオンライン通訳支援事業等による母語支援が図られているが、引き続き支援に取り組んでい

#### 【その他の質問】

- 健康寿命延伸をめざし、介護予防や認知症予防となるフレイル予防の取組の強化



## 令和7年11月定例会(予定)

| 月   | 日      | 内 容             |
|-----|--------|-----------------|
| 11月 | 28日(金) | 10:00～ 本会議開会    |
| 12月 | 9日(火)  | 10:00～ 一般質問     |
|     | 10日(水) | 一般質問            |
|     | 11日(木) | 一般質問            |
|     | 12日(金) | 9:30～ 総務常任委員会   |
|     | 15日(月) | 9:30～ 文教厚生常任委員会 |
|     | 16日(火) | 9:30～ 産業建設常任委員会 |
|     | 17日(水) | 9:30～ 予算常任委員会   |
|     | 19日(金) | 10:00～ 本会議閉会    |

日程は、都合により変更になる場合があります。日程の変更は、ホームページでお知らせします。

### 傍聴方法



#### ●本会議の受付 市役所4階 議場傍聴席

- ①傍聴者名簿に記入
- ②傍聴資料を受け取り入場

#### ●各委員会の受付 市役所3階 議会事務局受付

- ①傍聴者名簿に記入
- ②各委員会室前にて傍聴資料を受け取り入場

#### インターネット中継視聴方法



#### 会議録検索方法



#### ●本会議の様子は こちらから視聴できます。

## 遠藤 覚 草政会



### 危機管理センターの設置

議員 自然災害の激甚化、南海トラフ地震など大規模災害の備えが必要。危機管理の拠点となる危機管理センターの設置が急務である。

市 草津市地域防災計画において、市役所庁舎2階特大会議室に災害対策本部を設置することとなってい。被災により庁舎が使用できない事態への備えるとともに、迅速に災害対応を行う危機管理センターの設置について、現在、調査・研究を行っている。

### 指定管理募集要項等での常勤の定義が不合理

議員 常勤の定義を「主たる勤務地が当該地である者」のみとしている。一般常識としての常勤に改め、庁内で用語の統一を図るべき。

市 草津川跡地公園での常勤とは、にぎわい活動棟の開館時間に合わせて常時4人以上の職員配置が満たされれば、業務や管理が達成できると考える。適切な管理・運営ができているため、雇用期間の定めがないことや、所定労働時間を要件とすることは必要がない。常勤の用語の統一化を図ることは、指定管理事業者の民間ノウハウの活用・経費の削減を一定制限することとなると考える。

#### 【その他の質問】

- 草津川跡地公園における「専任」の定義
- 駐輪場設備の再利用



# 知ってほしい、議会の活動

9/16

## ハラスメント防止研修

～多様化する社会とわたし・ハラスメントの視点から考える～

議員は、特に相手を尊重した発言と行動を求められているのに対して、全国各地の議会でのハラスメントに関する報道が散見されます。これらの事象を、他山の石として、必要な知識を得るとともに、深く理解することが必要です。このことから、草津市議会では全議員対象に、講師に草津市同和教育啓発講師団 杉江範昭さんをお招きし、研修を行いました。

研修では、ハラスメントの事例をもって研修・話し合いを行い、見聞を深めることができました。議員として、他者との関係性を見つめなおし、人としての尊厳が守られる社会の実現に向けて取り組んでいくことの大切さを再認識しました。



▲講話の様子



▲議員間による意見交換の様子

9/16

## 救命救急訓練



▲講話の様子



▲心肺蘇生の実践の様子

市域の大規模災害が発生した時に草津市議会および議員がどのように対応すべきか共通認識を持ち、即応した行動がとれるように議会救命救急訓練を実施しました。

実技指導では、AEDの操作手順にあわせて心臓マッサージの方法を習得しました。

発見者1名および協力者2名の3名で1チームを編成し、発見者は、周囲の人々に大声で協力を求め、集まった人とともに1分間に100回程度（標準回数）絶え間なく立ち替わり胸骨圧迫を行いました。チームによっては、お互いに励ましあいながら1人あたりの回数を50回と決め、交代する工夫もみられました。

### 草津市議会ホームページ

<https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shigikai/>



スマートフォン  
専用アプリ



マチイロ



SideBooks  
(ちいき本棚)

### ご意見・ご質問をお聞かせください

本号に記載している内容等について、市民の皆様からのご意見・ご質問をお待ちしております。

いただいたご意見をもとに引き続き、より良い議会だよりの作成に努めています。

【草津市議会】〒525-8588 草津市草津3丁目13番30号  
TEL.077-561-2413 / FAX.077-561-2485  
Eメール [gikai@city.kusatsu.lg.jp](mailto:gikai@city.kusatsu.lg.jp)



### 広報広聴委員会

会派選出

- 輝勢会 ..... 福田 茂雄
- 草政会 ..... 田中 香治
- みらいと維新の風 ..... 八木 良人
- 市民派クラブ ..... 土肥 浩資
- 公明党 ..... 西村 隆行
- 日本共産党草津市会議員団 ..... 藤井三恵子

### 編集後記

令和6年12月1日号から今号まで、議会だより読者アンケートで寄せられたご意見を参考に、紙面構成の改善に取り組んでまいりました。

次号からは、左記のとおり新たな委員体制で編集してまいりますが、これからもより多くの皆様にご覧いただき、議会をより身近に感じていただけるよう、さらなる工夫を行ってまいります。

草津市議会広報広聴委員一同